

第9号

発行
区議会公明党
tel.5662-5112
中道貴事務所
平成20年1月

なかみち通信



新年号＝第4回定例会より＝

●平成19年度第4回江戸川区議会定例会が、11月29日から12月11日まで開催。小松川地区障害者施設建設費や、(仮称)子ども未来館の設計委託費など、一般会計の補正予算をはじめ、条例改正案等が審議されました。

区議会公明党の代表質問では、介護予防のための虚弱高齢者に対する体力づくりの拡充について見解を求めました。区長からは、法改正の目標に沿って取組み中であると共に、身近に実施できる環境も地域の中で検証するとの答弁。次に、一人暮らしの高齢者対策について区長からは、区と民間が協力して、地域の総力を挙げて取り組んでいきたいとの答弁。

更に、一般質問では、子宮頸がん検診の受診率向上や、障害者への災害情報の更なる確保、区民窓口サービスの充実、自転車の安全通行対策などについて取り組みを聞きました。区長からは、いずれも前向きな答弁があり、特に、災害時要援護者に対しては、特別な配慮が必要となるので、情報伝達の問題を含めて取り組んでいるところであるとの答弁でした。

平成20年度予算要望書を多田区長に提出



●江戸川区議会公明党は、このほど区役所内で多田正見区長に「2008年度予算要望書」を提出しました。内容は、①中学3年生までの「子ども医療費」の完全無料化②更なる行財政改革による健全財政の維持③妊産婦への安心・安全な医療提供④あらゆる地震災害を想定した防災体制の充実⑤区内中小零細企業に対するきめ細やかな支援策の拡充など全57項目を要請。更に、各種団体からの予算要望書も提出しました。

要望する
中道貴議員
(左端)

新町川水際公園(12/13)



見て来ました



徳島県防災センター(12/14)

●区議会公明党は、12月13日、14日の間、徳島県を視察。
その内容は、①ながさきモデルのOSS（ソールコード）が無償で公開されているソフトウェアを全国でいち早く導入した電子県庁システムの現状と今後の課題、②南海地震に備えた救助物資の備蓄集配施設機能等を持つ県立防災センターや県消防学校の取り組み、③徳島市内を流れる新町川の水際公園・ボードウォークなど、美しい親水空間の活用状況などを見て来ました。
中でも、NPO法人新町川を守る会（会員280人）は、「市民の汚した川は市民の手できれいに」と1990年に発足。地域の先頭に立って活動をされています。
川に親しむ共通の地域性も踏まえ、今後の江戸川区の街づくりや防災の在り方に反映していきたいと思えます。



引っ越しました

《新住所》〒132-0022
江戸川区大杉1丁目1番1-703
ファーストシーン新小岩南クオーレ
TEL：03-5607-0835（FAX 兼用）
近くにお越しの際は、お気軽にお立ち寄り下さい。

あなたの街のご相談は、
中道 たかし まで
区議会公明党 03-5662-5112

- 【議会役職等】
- ・総務委員会、行財政改革特別委員会、街づくり防災対策特別委員会各委員
 - ・財産価格審議会、公害健康被害認定審査会各委員、及び環境促進事業団評議員

議員の寄付行為の

禁止を徹底します！

●公職選挙法では、金額の多い少ないにかかわらず、議員の選挙区内での寄付を禁止しています。例えば、祭りや盆踊りなどの地域行事や、学校行事に際しての寄付、出産・新築などの祝金、病気見舞品も禁止されています。また、区民が議員に対して、寄付を求めることもできません。
区民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



一般質問の概要（3回定例会）
「災害弱者に更なる支援を。」
安心の街、松島を」

- 問 震災対策について
- ①災害時要援護者名簿の実効性ある活用を。
 - ②要援護者の高層住宅からの避難対策を。また、安心して避難できる場所の確保を。
 - ③事前に情報を得て心構えや身を守る準備をすることができ緊急地震速報の有効活用を。
 - ④防災教育として、備蓄食糧の試食体験を。

- 答 ①防災マップづくりを通じて防災体制を強化している。これを全区で実施していく。
②防災対策に終わりはなく、日常的に探求しながら出来る限り行っていく。
③積極的に周知し有効活用できるようにする。
④試食体験に限らず、総合的に臨場感ある防災訓練の実施など様々な検討をしていく。
- 問 松島地域は木造住宅密集地域として対策が進められている。良好な都市環境の形成に向け、各地区計画の策定や住民との合意形成など、現状と今後の取り組みは。
- 答 密集市街地整備事業や地区計画などをはじめたところであり、順次進めていく。